

第3回 鳥取西道路技術検討委員会概要

- 開催日時；平成30年3月7日（水）10:30～14:00
- 会議場所；鳥取河川国道事務所 会議室（1F）

【重山地区】

1) 斜面の変状要因について

- ・地質等の調査概要及び斜面の変状要因について説明し、確認を得た。
- ・主な委員意見
 - ▶ 花崗岩の風化が20mもの深層まで進んでいることから、変状が厚い風化花崗岩に吸収されて地表面へ現れていないものと思われる。
 - ▶ 複数の薄い粘土層の変状から始まり、ヒン岩層の地質境界部の粘土層の脆弱化によりすべり範囲が拡大し、複雑で大きな地すべりであることが判明した。
 - ▶ 今後の雪解け水や梅雨・台風等の影響も懸念されるため、対策後も斜面変状調査や水文調査は継続すべきである。

2) 重山トンネルの設計概要について

- ・設計概要について説明し、妥当と判断された。
- ・主な委員意見
 - ▶ 山腹内の水抜き対策と孔内傾斜計の変位計測は、トンネル工事後も継続することが望ましい。
 - ▶ 覆工打設は変位を確認しながら施工。
 - ▶ 工事完了後もトンネル変位調査は継続することが望ましい。

【松原地区】

1) 経緯と現状及び調査状況について

- ・経緯と現状及び調査状況を説明。
今後、対策の必要性を含め検討していく。
- ・主な委員意見
 - ▶ 北側は貫入してきたデイサイトの接触面付近は変質帯が厚く見られる。
 - ▶ 北側は法面背後地にボーリングを行うこと。
 - ▶ 南側は引き続き経過観察が必要である。

次回、平成30年4月中旬頃の開催予定。